



橋本市長
平木 哲朗

新年、明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

就任以来、市民生活向上のため、行財政改革など6つの重点課題についての取り組みを進めてまいりました。年が改まり気持ちを新たに、これまでに積み上げてきた施策を礎に、また次の段階へと事業を着実に進めていく、新たなチャレンジが始まる年であると考えております。

私たちが今までに経験したことのないような人口減少や少子高齢化が進む中、前例によらない行財政運営が求められる「時代の転換期」を迎えていると感じております。昨年4月に施行いたしました「橋本市の自治と協働をはぐくむ条例（略称…はぐくむ条例）」を旗印として、市民の皆さまと行政が密接に連携して知恵を出し合い、これからの橋本市を共にはぐくんでいきたいと思っております。

また、本年は財政健全化計画の最終年となります。改めて気持ちを引き締め、歳出の削減と歳入の確保の徹底により、健全な財政運営のもと、将来に向けた持続可能なまちづくりの実現を目指してまいります。

本年も「元気なまちづくり」の視点に立ち、市民の皆さまにとりまして、「住んでよかった」「住みたくなる」が実感できる市政運営に取り組んでまいりますので、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、新年のごあいさついたします。



橋本市議会議員
土井 裕美子

新年、明けましておめでとうございます。

皆さまには、令和二年の新春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

さて、昨年は元号が「令和」に変わり、新たな時代の幕開けとなりました。本市においては、NHKの大河ドラマ「いだてん」の中に日本女性初のオリンピック金メダリストで、本市の名誉市民でもある前畑秀子さんが取り上げられ、金メダルを獲得する「前畑がんばれ！前畑がんばれ！」の名シーンでは、大きな感動を覚えました。

現在、本市では人口減少・少子高齢化が進んでおり、これらに対応しながら、未来へ向け持続的なまちづくりを進めていく必要があります。協働のまちづくりを一層進めるための「はぐくむ条例」も施行された中、各政策の目的や効果をしっかりと見極め、議会としての役割と責任を果たしながら、今後のまちづくりを共に考え、取り組んでまいります。

また、昨年4月の議員改選時から議員定数が2人減となりましたが、以前にも増して、皆さまの多様な意見やニーズを市政に適切に反映させられるよう議員一人ひとりが研鑽に努め、資質の向上を図るとともに、豊かで、安心・安全な生活がおくれるまちづくりの実現と市勢の発展に尽くしてまいります。

今後とも皆さまの力強いご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆さま方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、新年のごあいさつさせていただきます。